

中国共産党をめぐる民族誌 現代中国における民衆の政治的行動と政治表象の社会人類学的研究

大田, 千波留

<https://hdl.handle.net/2324/4110580>

出版情報 : Kyushu University, 2020, 博士 (人間環境学), 論文博士

バージョン :

権利関係 : Public access to the fulltext file is restricted for unavoidable reason (3)

氏名	大田千波留
論文名	中国共産党をめぐる民族誌—現代中国における民衆の政治的行為と政治表象の社会人類学的研究
論文調査委員	主査 九州大学大学院人間環境学研究院 准教授 飯嶋秀治 副査 九州大学大学院人間環境学研究院 教授 高野和良 副査 九州大学大学院比較社会文化研究院准教授 長谷千代子 副査 九州大学 名誉教授 関一敏 副査 九州大学 名誉教授 濱本満

論文審査の結果の要旨

本論では、現代中国の民衆社会（浙江省寧波市と広東省広州市）において、その中国社会主義イデオロギーが如何にとらえられているかについて観察し、彼らとその只中を明らかに抵抗するでも、完全なる支持でも迎合でもなく、いかに生きているのかという

「民衆の政治的行為」の様相について論じている。先行研究では文献研究やアンケート調査が主であったのに対し、本研究では参与観察と聞き取りというエスノグラフィック的手法を用いてアプローチをし、「中国社会主義イデオロギー」と「民衆の政治的行為」の相互関係を考察している。

本論では参与観察や聞き書きを用いて 4,069 名に行い、共産党入党ということが「三好学生」「優秀大学生」「三下乡」などの評価が学生たちにどのように受け取られているのか、また毛沢東の表象が民衆の間でどのように受け取られているのかを研究し、ソトから見える中国共産党の姿（政治的閉鎖空間）を民衆の多様な視線（場所、世代、社会階層、黨員／非黨員）からとらえなおすことに成功している。

よって、本論文は博士（人間環境学）の学位に値するものと認める。